



## <6年生参観日、お世話になりました>

2月14日(水)の午後は、小学校生活最後の6年生の参観日でした。一年間、積み上げてきた、人権学習の学びから、「平和学習」、「全校発信」、「山の粥」、「渋染一揆」、「よき日のために」、「聞き取り学習」の六つのテーマを取り上げ、自分たちの思いを発信する時間でした。「自分たちにできることをしていきたい。」、「命を大切に、差別やいじめを無くしていきたい。」、「学習したことみんなに広めて差別を無くしていきたい。」など、素直な感想がたくさん出ました。いじめや差別を許さない、無くしていくのは自分たちである強い思いが伝わりました。保護者の方からは、「学びを全校発信などで実践化につなげていることがうれしい。」「自分の意見を持ち、伝えられる中学生になって欲しい。」「〇〇したい。ではなく、〇〇します。と強い意思を持って行動できるようにこれからの成長を期待したい。」などたくさんのご意見をいただきました。その後、保護者の方と人権・同和教育懇談会を行いました。一年間の学びを共有し、意見交流を行いました。多くの学びがあることを喜んでくださいました。今後は実践化につなげていくことを中心に、保護者の皆様と協力しながら取り組んでいきたいと思っております。卒業式まで22日となりました。残りの小学校生活が充実したものになるように、指導・支援をしていきます。保護者の皆様、ご協力よろしくお願い申し上げます。



## <全校集会・校長講話(防災について)>

2月16日(金)は、全校集会で校長講話を行いました。今回は一月に起きた能登半島地震を受けて、防災について話しました。いつ起こるか分からないと言われている南海トラフ地震にも触れながら、自分の命は自分で守ること(自助)を中心に動画を視聴して考えました。どの子も真剣な態度で集会に参加していました。地震が起きたらまず、「頭を守るために机の下などに隠れる」、揺れが治ったら「避難する」この二つが自助の行動です。これができるからこそ、助け合う(共助)そして、公共の助けを待つ(公助)につながります。動画視聴の後、「机の下に隠れたら、机の脚を持つことが大切だと分かりました。」、「地震が起きたらまず、隠れて身を守ります。」、「地震に備えたいです。」、「自分の身は自分で守りたいです。」など、たくさんの意見が出ました。学校では今後も、子どもたちの命を守り抜くために最善の努力をしていきます。そのために避難訓練や、防災教育を積み上げていきます。子どもたちには、地震の備えについて家族で話し合ってみましょうと伝えています。是非、防災について家庭でも話し合い、防災意識の高揚へのご協力をお願いします。

